



を作て下さい」と松本市長からメッセージが贈られた。

往区である1往区に、地上6階建、土地面積約3万2,320㎡の地域区分郵便局を建設中であり、この場所が東京23区

スの結節点にあり、交通の利便性に優れている。和光北インター地域土地

は造成工事が完了。平成28年度までには区画整理事業を終了する予定となっている。

和光市駅前公衆トイレ ネーミングライツで生まれ変わる



事業者は施設に対する命名権を付与する代わりに、その対価として、その相応の金額を事業者が施設の管理者に支払うという仕組み。大きなスタジアム

和光市駅前にある公衆トイレが、『和光市駅前トイレ診断士の厠堂(かわやどう)』として生まれ変わり1月8日(木)、オープン・セレモニーが開催された。ネーミングライツによる公衆トイレの改修事業は県内初の試み。ネーミングライツとは、

(越谷市)に決定。同社は、社内検定が厚生労働省の認定を受けている「株式会社アメニティ」(横浜市)のフランチャイズで、「トイレ診断士の資格を取得した社員が、この駅前トイレの専門的なメンテナンスを実施する。改修に伴う費用や、平成29年3月までの維持管理などのメンテナンスにかかる費用は、総額で約500万円に上る見込み。要望の高かった和式便器から洋式便器への変更や、光量の高いLED電球の設置、多目的トイレのベビーベッド設置などの改修に加え、毎月の衛生陶器の維持管理を行う。これらの費用は全て命名権を獲得した同社の負担となり、税金は一切かからない。

市の担当者は、「ネーミングライツ事業は、市と事業者、そして市民、全ての人が得をする関係。市は、財政事情が厳しい中、お金をかけずに市民に快適な空間を提供することができ、事業者は、専門知識や技術を提供することで、その認知度を高める宣伝効果が期待できる。今後もこの手法を取り入れたい。」と話している。

CSリレーシヨンス株式会社(47)はセレモニーのあいさつで、「ネーミングライツは企業名を付けることが多いが、トイレ診断士を社会に認知してもらうために命名した。トイレの代名詞となっている。臭い、汚い、暗い、怖い」の公衆トイレの4区を、少しでも快適な環境にしたい。」と意気込みを語った。

CSリレーシヨンス株式会社(47)はセレモニーのあいさつで、「ネーミングライツは企業名を付けることが多いが、トイレ診断士を社会に認知してもらうために命名した。トイレの代名詞となっている。臭い、汚い、暗い、怖い」の公衆トイレの4区を、少しでも快適な環境にしたい。」と意気込みを語った。

和光市商工会 新年賀詞交歓会開催



2015年の元気に向かって乾杯

平成27年和光市商工会主催の新年賀詞交歓会が1月15日(木)、午後5時、和光市民文化センターサンアゼリア・小ホールで開催された。豊田真由子衆議院議員、井上航県議会議員始め、菅原和光市議会議員、栗原副議長など12名、

松本武洋和光市長、大久保和光市教育委員会教育長、山崎企画部長など713名、埼玉県南部地域振興センター齋藤修一所長、朝霞公共職業安定所小久保勉所長、陸上自衛隊朝霞駐屯地萩庭賢了業務隊長、埼玉県信用保証協会川

越支店灰原久雄審査役(独)理化学研究所古屋輝夫理事他関係団体12名など多数の列席者を迎えて盛大に催された。斎藤会長は挨拶のなかで、昨年制定された「小規模企業振興基本法」に触れて、「小規模企業の活力発揮の必要性に向け、個人能力の発揮を図る施策の策定や実施ならびに、その事業の持続的な発展を図るべく、本会は他に先駆けての支援計画の策定に向けて全力を挙げてすでに取り組んでおります。このような状況下、昨年11月にNHKホールで開催された商工会全国大会において、全国約1700の商工会の活動事例コンクールで、本会が準グランプリ(全国第2位)に輝きました」と会員に感謝を

あ



会
治会。呼び掛

会
役は流

結



事業の一環として協定を締結したものの。

参加者26名

源右衛門鍋がグランプリ

ポン全